

原子力防災講座 **その3**



前回までの原子力だよりでは、原子力災害の特殊性、災害時の心構え、屋内退避や避難の具体的な方法などについてご紹介しました。今回は、避難退域時検査場所、放射線防護施設についてご紹介します。

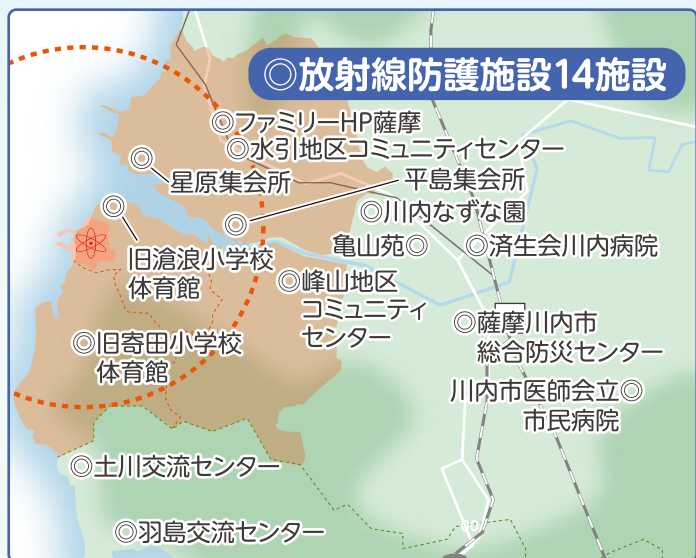
避難退域時検査場所とは？

- 避難退域時検査場所とは、避難や一時移転をする方の汚染状況を確認することを目的とした検査を行う場所です。
- 車や衣服などに放射性物質がついていないか検査を行い、検査の結果、基準値を超えた方には簡易除染を行います。
- 避難経路上の緊急配布場所で、安定ヨウ素剤を受け取れなかった方には、こちらで配布します。
- 県では、関係自治体と協議し、避難経路上に検査場所の候補地21箇所を選定しています。



放射線防護施設とは？

- 放射線防護施設は、病院や社会福祉施設への入院・入所者など、避難により健康リスクが高まるような方が屋内退避するための施設です。
- 放射性物質が施設内に入るのを防ぐための対策として、施設内の気圧を外気より高める設備や放射性物質を除去するフィルターなどを設置しています。



川内原子力発電所周辺の

環境放射線・温排水影響調査結果

鹿児島県では、川内原子力発電所の運転による影響を調べるため、発電所の試運転開始前から、周辺地域で採取した野菜・水等に含まれる放射性物質や、空間放射線量、温排水の影響を調査しています。

環境試料の放射能分析 (令和元年7月~9月)

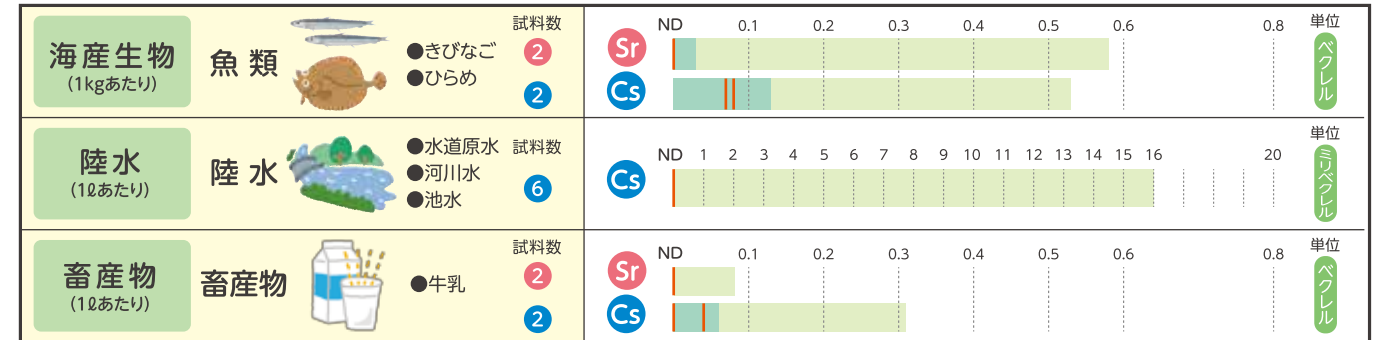
鹿児島県 環境放射線調査結果 [検索](#)

● 微量のセシウム137、ストロンチウム90が検出されていますが、これまでの調査結果と比較し、異常は認められませんでした。

今回は海洋試料8試料、陸上試料31試料、合計39試料を対象としています。

過去5年度の測定値範囲 (H26.4~R1.6) ← 今回の測定値 → これまでの測定値範囲 (S53.4~R1.6)

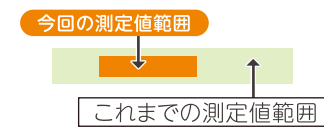
Sr ストロンチウム90 Cs セシウム137 ND … 検出されなかったことを示します。



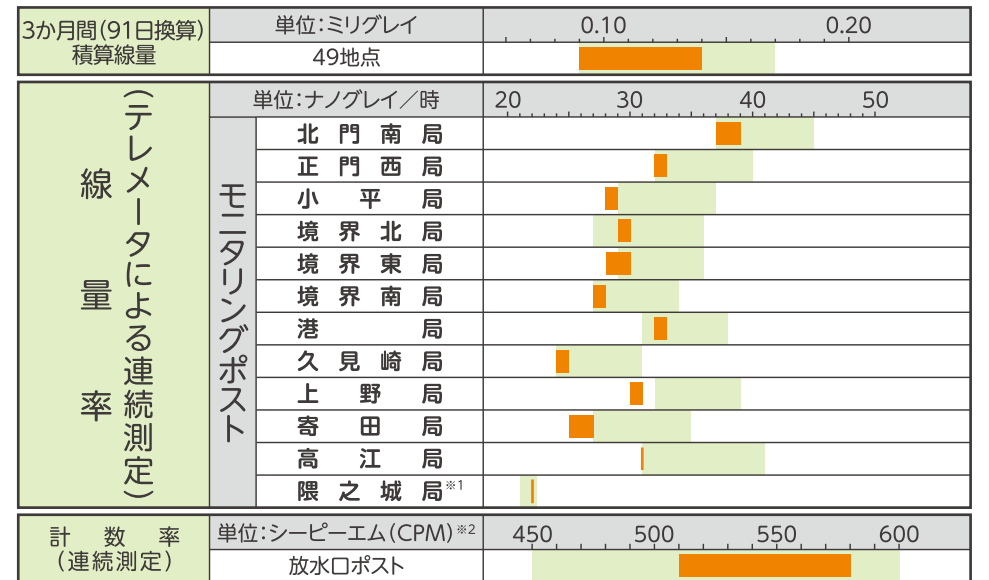
空間放射線量の測定 (令和元年7月~9月)

空間放射線量については、リアルタイムで県のホームページで公表しています。鹿児島県 環境放射線監視情報 [検索](#)

- 測定局・地点数
- 3か月積算線量測定地点:49
- モニタリングポスト:73
- 発電所放水口ポスト:1



● 今回の調査結果は、これまでの調査結果と比較し、異常は認められませんでした。



*1 隈之城局は、平成31年4月から測定開始。 *2 CPM(カウントパーミニッツ):1分間に測定器を通過した放射線の数を表す数値。

温排水影響の調査 (令和元年度 春季・夏季)

鹿児島県 温排水影響調査結果 [検索](#)

温排水とは、発電所内で蒸気の冷却に使用した後に排出される海水のことです。この温排水が周辺海域に与える影響を把握するために、温排水影響調査を定期的実施しています。

- 水温・塩分調査: 水温計を船でひきながら、水深別に水平分布を調査しました。また、海面から海底までの鉛直分布も調査しました。(令和元年8月1日)
- 流況調査: 海中に流速計を設置し、潮流の向きや速さを調査しました。(令和元年8月1日~2日,8月19日~9月3日)
- 海生生物調査: 海藻や潮間帯動物の出現した種類や量を調査しました。(令和元年5月19日~20日)

※本調査は電源立地地域対策交付金にて実施しています。

水温・塩分・流況や周辺海域の海生生物の出現状況については、過去の変動の範囲内でした。

